

応募法人からの説明（プレゼンテーション）における主な質疑応答

<社会福祉法人あおば福祉会>

委員

箕面保育所では、乳児保育の部分で担当制、コーナー保育を重要視しているが、どのように引き継いでいくのか。

法人

幼児保育においては担当制が有効であると理解しているが、担当制で固定してしまうと、長時間の中で必ずその担当が付けるかということが課題になる。また、多様な人間関係で育っていくことも子どもにとっては必要であるという見解から、この子どもに対してはこの先生という形ではなく、このグループの担当はこの先生といった緩やかな担当制を考えている。またコーナー保育に関しては、遊びは子どもたちにとって大切な活動であることから、たとえば、2歳児の保育室では読書コーナー、衣装コーナーなどを設置し、また、環境設定を変化させながら自分で選び取る力を育てていきたい。

委員

施設整備計画についてご説明ください。

法人

既存の建物を継続して使用していきたい。基本的には一階を乳児室として考えており、安全面からすぐに園庭に出ることができるよう、部屋の大幅な移動があるかと思う。中庭と前面のウッドデッキは最終的には二階にもつながり、二階の避難経路からそのままダイレクトに園庭まで素足で避難することができるよう、安全面を考慮していく。二階部分においては、現在、和室の部分を一時保育に使用することを想定している。

委員

施設改修はどのくらいの時期を考えているか。

法人

何よりも子どもたちが落ち着いた環境で動揺しないということを考慮しながら、改修は平成26年度内にはスタートしていきたいと考えている。特に、保護者の要望であるトイレ改修はできるだけ早く始めたいと考えている。

委員

職員配置で特に留意されていることはあるか。

法人

職員配置においては経験年数4年以上が半数という応募条件があったが、それ以上の経験年数の方もすでに確保しており、偏った年齢層ではなく経験年数も踏まえたいと考えている。現在、箕面保育所で非常勤、パートとして働いている先生方に採用試験を受けていただき採用していきたいと考えている。

委員

箕面保育所が行っている子育てサロン等の地域交流については引き続き実施いただけるのか。

法人

基本方針として、地域の拠点になるような保育園を目指すことを大切にしている。箕面保育所が行っていることは積極的に実施していきたい。

委員

今回の志望動機を伺いたい。

法人

子育てに対する思いが箕面市と一緒にあり、その思いがより良い保育に繋がるものと考えられる。法人として市内で2か所ぐらいの保育所を持って子どもたち同士が交流ができれば、さらに豊かさが深まっていくのではないかと考えている。

<学校法人 慈光学園>	
委員	提出資料に、性差で固定観念を植え付けないように配慮すると記載されているが、研修資料では「靴箱、ロッカーに男女別でシールを張る」と記載されており、整合性が取れていないように感じる。また、虐待への対応については性的虐待が抜けており、人権という観点からいうと虐待保育についての認識がずれているのではないかと感じる。この二点についていかがか。
法人	性差部分については、資料に不備があった。現在、保育園では性別でロッカーを分けておらず、アイウエオ順でシールを張っている。性的虐待についても、資料では抜けているが研修では行っている。
委員	施設修繕計画について、早い時期からの改修を設定していますが、保護者や近隣住民から理解を得るための流れを考えた場合、その時期で十分だと思いますか。また、十分でない場合は柔軟に対応していただけるのか。
法人	職員、保護者から意見をもらいながら、また、一年を通して子どもや保護者の導線を見させていただきながら検討していきたいと考えている。
委員	職員の引き継ぎについて、特に留意していること、アピールしたいことはあるか。
法人	子どもたちの環境を変えないことを一番に考えている。現在いる職員の方が残っていただけるのが理想である。早い段階で法人の職員を行事等に参加させて連携をとり、市と保護者の方と話し合いをしながら、時間をかけて引き継ぎを行っていききたい。
委員	今まで30人規模の保育所経営をされているが、今回、100人を超える大規模な保育所経営を志望された動機は何か。
法人	法人としては300人規模の幼稚園の運営はしているが、100人規模の保育施設は初めてであり、不安な点もあるが、マニュアル通りではなく各園にカラーがあることが一番と考えている。市、保育所と色々と相談しながら対応していける、やっていけると思い応募した。
委員	子育て支援はとても重要であり、公立では経験年数のある保育士が担当していることが多い傾向にある。資料では、子育て支援の担当保育士に4年未満の保育士を想定されているが、担任には経験年数のある保育士を配置しようとお考えの中で、なぜ4年未満なのか教えていただきたい。
法人	4年という年数に関してこだわりはない。子育て支援に関しては未就園児のお子様もいる中で、子育てが落ち着いて復帰したいと思われている方や、さらに地域のことをよく理解していただいている方をお願いしたいと考えている。
委員	保護者との連絡について、現在、貴法人では既存の連絡帳を使用されているが、民営化園では、どのようにしようとお考えか。また、園便りやホームページなどに活動中の子どもの写真など、幼稚園の活動が開示されることに対して、保護者との情報共有はどのように対応されているか教えていただきたい。
法人	連絡帳については、基本、箕面保育所で使用しているものを引き継ぎたいと考えている。

	<p>写真掲載などの個人情報については、事前に保護者の了解をいただいている。掲載拒否の希望があれば配慮していきたいと考えている。また、パスワードなどにより保護者しか見ることができないといった配慮もしている。また、園外活動など、子どもたちの行動がわかることのないよう、行事予定に関してはホームページに掲載していない。</p> <p><社会福祉法人 しらゆり会></p>
委員	貴法人が運営する保育所はどんどん増やしていくべきものだという考えか、それともじっくりと増やしていくものだという考えか。
法人	現在、運営している保育園以上に増やすということは考えていなかったが、公立の園長も務められた素晴らしい方に来ていただき、ここ7、8年、周りから高い評価を得られるような素晴らしい保育園ができたと思っている。私たちの保育園は「子どもも職員も笑顔が絶えない保育園」であると自負しているので、そのような保育園を一つでも多く作っていくことも大切なのではないかと考えるようになり、今回応募した。
委員	施設整備について建て替えを検討されているということですが、話し合いの中で方向性を変えていくことは可能ですか。
法人	保護者の皆さんと十分相談しながら進めていきたいと考えている。
委員	職員配置について、どのような点に重点を置いているか聞かせてください。
法人	受託が決まり次第すぐに、現在働いている方の希望を聞いて、希望があれば採用したいと考えている。職員の採用については、大学の就職担当等との連携を取りながら確実に人材確保を図っていく。4月以降、調理員に関しては毎日、園長・主任に関しては週何回か行かせていただくことを考えている。
委員	箕面保育所が関わっている子育てサロン、高齢者との交流等の地域連携について、引き続き実施いただけるのか。
法人	現在も地域の方が参加していただける食事会などのイベントを行っているため、このようなことも継続していきたいと考えている。
委員	経常経費に対する人件費の割合が高いと見受けられるが、施設改修に対する財源確保は問題ないのか。
法人	職員に高い給料を払っていることはないと思っている。また、園長には子どもに対して良いと思うことは何でもやってよいと申している。私たちの保育園では一時保育が昨年で3600人ほど利用されている。家庭の事情があればどんな状況にあっても受け入れるというのが園長のポリシーであり、毎日多くの方が利用している。そのため財政的には問題はないと考えている。また、改修の際は補助金もあるのでやっていけると考えている。
委員	病児保育を実施したいお考えは。
法人	熱が出た場合など、保護者が迎えに来られない場合は近隣にある病児保育の施設へ電話をする保護者が多く、施設の方が迎えに来る際に子どもがとても寂しそうな顔をするのを見て、何とか助けたい、力になりたいという思いから実施したいと考えている。

<社会福祉法人 種の会>	
委員 法人	<p>建て替えをするということをやっていたが、時期などはどう考えていますか。</p> <p>建て替えはしたいが、建て替えは保護者の関心がないといけないと思っている。一部建て替えの時に設計の段階で、保護者有志で興味のある人に来てくださいと通知をしたこともある。改修等する場合は保護者と一緒に考えていきたい。</p>
委員 法人	<p>職員体制で力を入れる、特にポイントとしてやっけていこうと考えていることは何か。</p> <p>現在、箕面保育所で働いているパート、アルバイトさんに声掛けをする。知っている先生がいるというのはすごく大事なことだと思っている。今は保育士不足のため、既存の人を募集することを第一に考えている。</p>
委員 法人	<p>子育てや高齢者支援などの地域交流について、箕面保育所が職員に対して行っている教育体制の継続は可能か。</p> <p>若い職員にレクチャーさせることを考えている。また、ボランティアも積極的にやっていきたいと思っている。</p>
委員 法人	<p>園独自の発達記録登録のシステムについて、どのようにお子さんの行動を把握しているのか。システムを導入した経緯と導入後の効果等を教えていただきたい。</p> <p>昔は経過記録を手で書いていたが、現在はエピソード事実も含め、このシステムで管理をしている。管理はWEB上で行うため、保育者誰もが把握でき、家に帰っても見ることができる。</p>
委員 法人	<p>資料の中の「保育のまわしかた」という文言について教えていただきたい。エピソードや話を聞いていると、何時に何をするという意味でこの文言を書いているようですが、少し「まわしかた」という言葉が一致しないと感じる。研修等で「まわしかた」という言葉について、どのようにお話しをされているのか。</p> <p>「まわしかた」という言葉について、人員配置等の問題で仕事や人がローテーションしたりすることを職員が「まわしかた」という風に言っている。自分自身そういう言葉は遣わないが、職員は遣っているので、そういう言葉を聞いたら抑制していかないといけないと思っている。</p>
委員 法人	<p>財産に土地がありませんが、社会福祉法人で土地を購入するという行為は考えにくいですか。</p> <p>実際、お金を出して土地を購入してまで保育所を運営することは考えられない。</p>